

## 100 回分の感謝を

有縁のみなさま、こんにちは。  
なんと！この徳泉寺報（徳報）が今号で100号となりました！！！！  
平成二十九年（2017年）十一月から数えて八年以上、毎月みなさまのもとに徳泉寺のあれこれをお伝えしてきました。どんな記事が印象に残っていますか？心惹かれた記事はありましたでしょうか？京都・東本願寺から発行されている同朋新聞とともに「おらほのお寺」を感じていただけているでしょうか。



過去の徳報の数々

そもそも事の始まりは、夕方のテレビで徳泉寺の桜を見たご門徒さんから「この間、徳泉寺の桜がテレビに映ってたね。咲いてるところを見たことがなかったけど、キレイなのね。」と言われたことでした。ああそうか、境内に墓地があるご門徒さんでさえ、徳泉寺の桜をテレビで見ることができないのか、と衝撃を受けました。考えてみれば、ご法事でお寺を訪れる方などは数年に一度しか訪れる機会がありません。常々、「お寺は生きてるときに来るところ」と言い続けている徳泉寺としては、ご門徒さんたちに真宗の教えを身近に感じていただくためにもご自宅に届けるお便りがあるといいのでは、と考えるようになりました。そして、その年の報恩講にいつも通って来られていたご夫婦が体調不良で欠席したとき、報恩講の様子をお伝えしたい、と強く思ったことがきっかけで寺報の発行に至りました。

この八年の間には新型コロナウイルスの脅威が蔓延し外に出るのもはばかられるような時期もあり、生活様式自体も大きく変わりました。そんななかで「いつも楽しみになっていますよ。」「今回の記事はとてもしっかり残ったよ。」などとお声かけいただいたり、新しく徳泉寺を知っていた入口となったりと、この寺報が毎月みなさまのもとに届くことにはいくらか意味があったのではないかと感じています。

いのちを伝える仏の教えはどんな世であっても、いくつになっても私とは切り離せないものだと思います。徳泉寺に通ってくださっている方にも、距離や体力やお仕事やそれぞれのご事情でなかなか足を運べない方にも、これからも月に一度のお手紙のようにこの寺報をお届けできればと考えています。どうぞよろしく願います。

# 徳とく泉すい寺報じほう

No.100

発行  
令和8年2月  
発行元 徳泉寺  
仙台市宮城野区  
榴岡3-10-3  
(022)297-4248  
[tokusenji.sendai@gmail.com](mailto:tokusenji.sendai@gmail.com)



## ホームページ

[tokusenji-sendai.com](http://tokusenji-sendai.com)



## Instagram

[tokusenji.sendai](https://www.instagram.com/tokusenji.sendai)



TOKUSENJI.SENDAI